

# MCCIR

Vol. 15 株式会社メガチップス  
2011年3月期のご報告  
2010年4月1日～2011年3月31日

2011年3月期のご報告  
2010年4月1日～2011年3月31日

For a society of  
more heartfelt communication  
**Mega Chips**

株式会社メガチップス

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目1番6号 アクロス新大阪  
TEL.06-6399-2884(代) FAX.06-6399-2886

<http://www.megachips.co.jp/>



この冊子は、FSC™ 認証紙および植物油インキを使用しています。  
FSC™ ロゴマークは Forest Stewardship Council™ (森林管理協議会) の基準に適合した森林から  
生産されたものであることを示します。責任ある森林管理を実現します。

## 革新的な技術で、 日本と世界のものづくりを支える



社長が語る業績と戦略  
市場の変化を的確に捉え  
新経営体制のもと、持続的な成長を目指します

102-8790

220

東京都千代田区一番町17-6 一番町MSビル3F

株式会社メガチップス  
広報グループ 行

料金受取人私郵便

〒1170  
麹町支店承認

差出有効期間  
平成23年8月  
31日まで  
(切手不要)



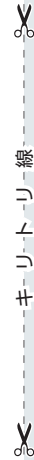
### 株主様アンケート

お手数ですが、ハガキにご回答の上、ポストへご投函ください。ご希望の項目は、お返しのハガキに記入してください。

株主様のプロフィールをご記入ください。

- 性別：男性 女性
- 年齢：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代～
- 職業：会社員 自営業 公務員 主婦 無職 その他( )
- 当社株式保有数：  
単元未満(100株未満) 100-199株 200-299株  
300-399株 400-499株 500-999株 1,000株以上
- 当社株式保有期間：  
1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満  
5年以上10年未満 10年以上
- 居住地：  
北海道・東北 関東 信越・北陸 東海 近畿  
中国 四国 九州・沖縄

※ご記入いただいた情報は、アンケート集計以外の目的には使用いたしません。  
※2011年7月31日までに投函ください。



ハガキをご投函の際は、点線にそって切り離してください。

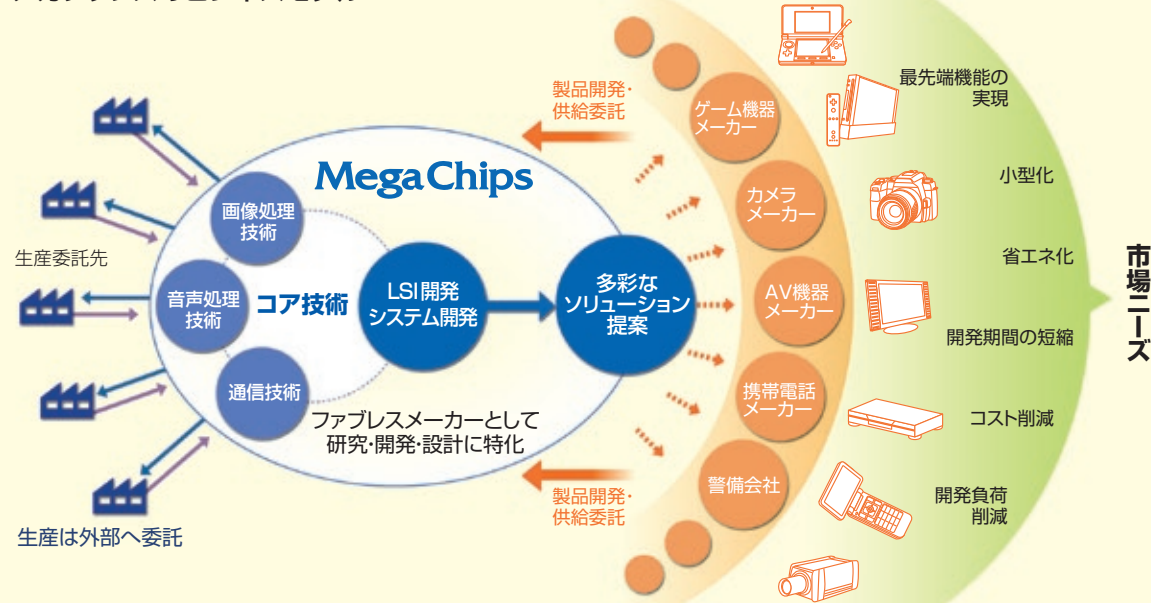
# 先端の技術を、人と社会の未来のために。

メガチップスは、「高い技術力をベースに、人々の安心や安全、豊かな生活、地球環境維持の実現に貢献する。」ことを使命に、画像・音声・通信分野において独自に開発したシステムLSIやシステム製品を提供してきました。

また、近年の高度情報化社会においては、デジタル機器市場の拡大を背景に、製品の高機能化、多様化が急速に進展しており、これに伴って顧客メーカーからの要請もますます高度化・多様化しています。

当社はこのような社会の変化を的確に捉え、研究開発型ハイテクファブレス企業である当社の特性を活かし、これまでにない新しい価値の創造と高い技術力により、大手企業では実現できない独創性のある幅広いソリューションを顧客メーカーに提供することで、人々が幸せを実感できる豊かな未来社会作りに貢献していきます。

## メガチップスのビジネスモデル



**CONTENTS**

プロフィール	1	コーポレート・ガバナンス	9
財務ハイライト	2	連結財務諸表	11
社長が語る業績と戦略	3	IRインフォメーション	12
研究開発・知的財産戦略	7	会社概要／株主メモ	14
CSR活動	8		

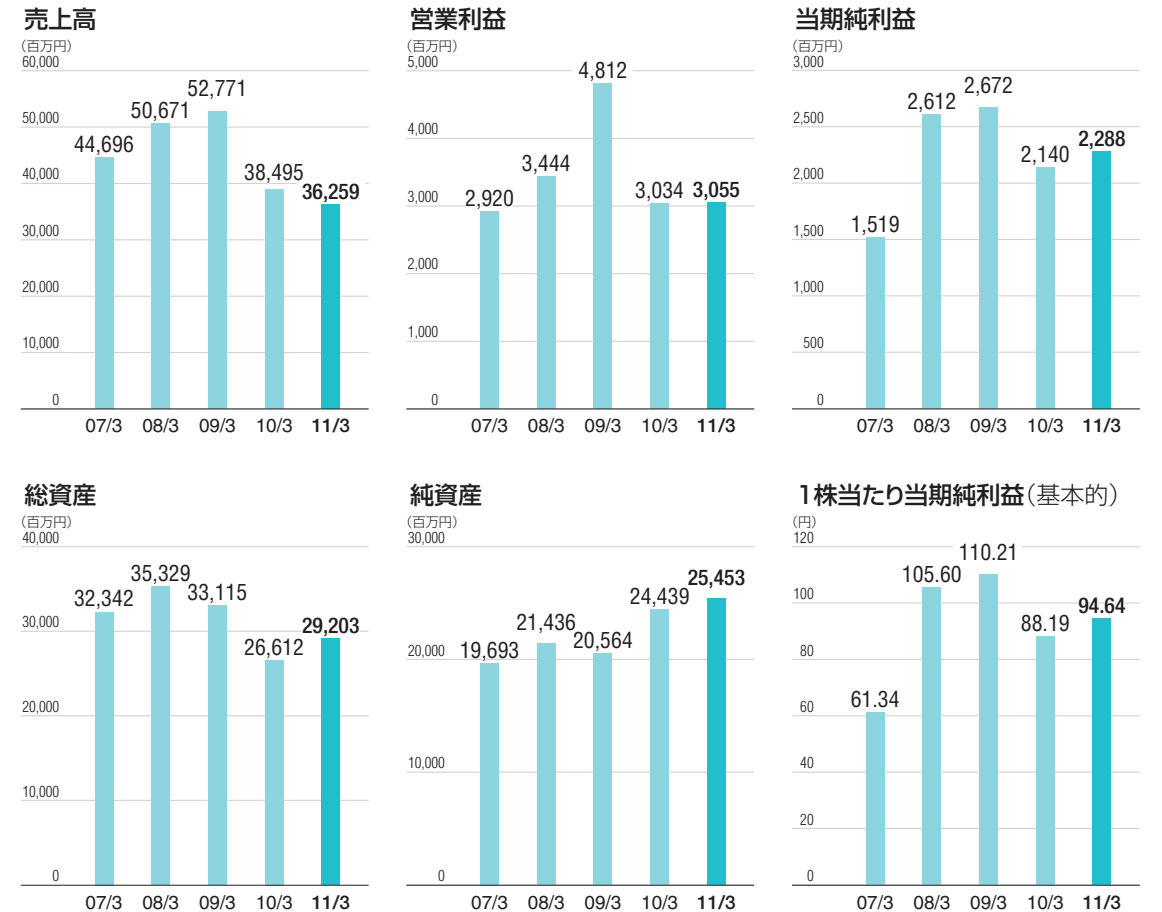
**見直しに関する注意事項**  
 当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

**表紙について**  
 表紙の写真は当社社員を撮影したものです。メガチップスは、新経営体制のもと社員が一丸となって、市場の変化を見据えた革新的な技術開発で、お客様のものづくりを支援してまいります。

## 財務ハイライト

株式会社メガチップスおよび連結子会社  
 3月31日に終了した連結会計年度

	2007	2008	2009	2010	2011
会計年度 (単位:百万円)					
売上高	44,696	50,671	52,771	38,495	36,259
売上原価	37,867	42,832	43,671	31,833	29,731
営業利益	2,920	3,444	4,812	3,034	3,055
当期純利益	1,519	2,612	2,672	2,140	2,288
会計年度末 (単位:百万円)					
総資産	32,342	35,329	33,115	26,612	29,203
純資産	19,693	21,436	20,564	24,439	25,453
1株当たり情報 (単位:円)					
当期純利益—基本的	61.34	105.60	110.21	88.19	94.64
当期純利益—希薄化後	61.07	105.22	110.11	88.07	—
期末発行済株式総数 (単位:株)	25,939,217	24,904,517	24,667,317	24,353,900	24,038,400



## 市場の変化を的確に捉え 新経営体制のもと、持続的な成長を目指します



代表取締役社長 高田 明

平素はひとかたならぬご支援とご高配を賜り、誠に有り難く心から御礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈りいたしますとともに、被災されました株主の皆様とご家族の皆様を表心よりお見舞いを申し上げます。

この度、第21期定時株主総会後の取締役会において、代表取締役社長に就任しました高田でございます。

近年の高度情報化社会における、デジタル機器市場の急速な拡大に伴い、市場も多様な変化が予想されます。このような変化のある環境の中、チャンスをつかみ、先を見据えたビジネスモデルを展開し更なる成長を目指します。

これまで代表取締役社長を務めていた鶴飼幸弘は、当社顧問として新体制をサポートいたします。

株主の皆様には今後も引き続き当社への変わりぬご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### 2011年3月期の業績と配当

**厳しい事業環境にあるものの  
開発費収入の増加やシステム事業の  
赤字幅縮小により増益を確保しました**

2011年3月期、当社の属する電子機器業界は、低水準ながら前年比増という状況で推移したものの、景気回復への足取りは鈍く、先行き不透明な状況が続きました。

このような厳しい状況の中、2011年3月期は売上高において362億5千9百万円(前年同期比

5.8%減)となったものの、営業利益は30億5千5百万円(同0.7%増)、当期純利益は22億8千8百万円(同6.9%増)と増益を確保いたしました。

事業セグメント別に見ると、LSI事業では主力製品であるゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリー)の需要が低下し、デジタル一眼レフカメラ向け画像処理用LSIの需要も低調に推移した一方で、画像処理技術による開発費収入が売上に貢献しました。この結果、LSI事業の売上高は330億8千万円(同8.4%減)、セグメント利益は37億2千8百万円(同11.5%減)となりました。

システム事業では、セキュリティ・モニタリング用途の顧客専用デジタル映像監視システムの需要が堅調に推移した結果、セグメント売上高は31億7千8百万円(同34.1%増)の増収となり、セグメント損益についても、損失5億7千4百万円と、前年同期(損失11億4千1百万円)から大幅に改善しました。

なお、株主配当に関して、当社では株主の皆様への利益還元を、経営上の重要施策として位置付け、「配当性向30%程度」または「連結純資産配当率(DOE)2%程度」のいずれか高い方を基本的に配当額を決定しています。2011年3月期につきましては、2011年3月31日現在の株主様に1株当たり

年間29円(前回は年間27円)の普通配当を実施いたしました。

### 中期経営計画

**選択と集中による収益基盤の  
改善成果を踏まえ5年後、10年後の  
成長を見据えた戦略を策定しました**

当社では、2010年3月期から事業の「選択と集中」を進め、有力機器メーカーを対象に、システムLSIのみならず、得意分野である画像・音声・通信の技術を活かした多彩な技術ソリューションを提供する「顧客密着型ビジネス」に注力してきました。その結果、ゲーム機器やデジタル家電分野における新製品の開発・販売、新規顧客の開拓が着実に進んでいます。さらに、新たな成長分野として「エコエネルギー」に着目し、家庭の省エネに貢献する技術開発を顧客と共同で進めるなど、中期的な成長に向けた施策を展開してきました。

こうした事業ポートフォリオの改革に加え、原価管理や生産工期の短縮など、業務効率の改善にも努めてきた結果、2011年3月期の営業利益率は8%台と、持続的な成長に向けた収益基盤が固まってきました。

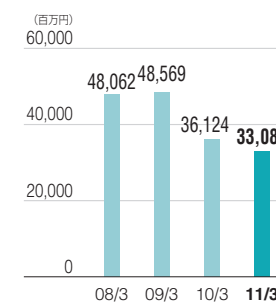
この成果を踏まえ、5年後、10年後を見据えた

### Profile

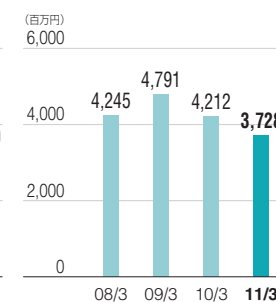
- 1990年 5月 当社入社
- 1994年 1月 製品事業部長
- 6月 取締役事業部長
- 1998年 4月 システム事業部副事業部長
- 2001年 6月 取締役退任
- 2003年 4月 執行役員システムビジネスユニット統括
- 2005年 5月 執行役員中国事業統括  
Shun Yin Investment Ltd. 董事(現任)
- 2008年 1月 執行役員経営戦略室長
- 2009年 2月 執行役員管理本部アライアンス戦略室長
- 10月 執行役員生産管理部長
- 2010年 6月 取締役
- 12月 執行役員LSI事業部長
- 2011年 6月 代表取締役社長(現任)

### セグメント別の業績

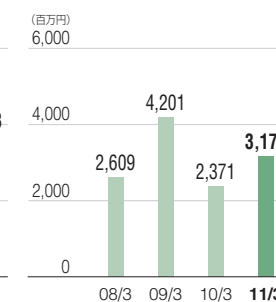
LSI事業  
売上高



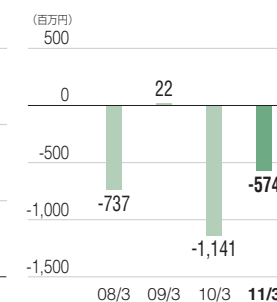
セグメント利益



システム事業  
売上高



セグメント利益



新たな中長期経営戦略の基本方針として、次の3つを定めました。

①「顧客密着型ビジネス」に加え、多数の顧客に「特徴のある当社技術を使ったプラットフォーム」を提供する「汎用型ソリューションビジネス」の育成に取り組み、事業ポートフォリオの健全化を図る。

当社が従来から得意としている「顧客密着型ビジネス」では、システムLSIからシステム製品まで幅広く対応できる当社の技術力・開発力を磨き、特定顧客の要望への対応力をより高めていくことで、引き続き事業基盤の強化を図る考えです。

さらに今後は、自社技術で構築した競争力の高いソリューションを多数の顧客に提供していきます。これは顧客が付加価値の高い新たな製品やサービスを創造するために、その技術的なベースとなる「特徴のある当社技術を使ったプラットフォーム」を提供するものであり、さまざまな顧客企業の新規ビジネス創出に貢献できるものと考えています。

我々はこれを「汎用型ソリューションビジネス」と

位置付け、事業基盤である「顧客密着型ビジネス」の強化に加え、中長期的な事業拡大のための重要な事業ポートフォリオのひとつとして事業育成に取り組んでいきます。

②中長期的な視点に立った新たなビジネス創出に向け、核となる「基礎技術」の開発を進める。

新たなビジネスを育て、将来の健全な事業ポートフォリオのひとつとして成長させていくには、競合を圧倒的に凌ぐ技術力と、強力な「核」となる基礎技術が必要です。このため当社は今後、中長期的な視点から全リソースの10%程度を「核」となる基礎技術の開発に投入し、各事業のシナジーを結集して、将来に向けたビジネスの創出に取り組んでいきます。

③高収益化への体質改善により事業効率を向上させる。

厳しい経営環境の中で成長していくには「高収益化」への体質改善が求められます。グローバルなアライアンスの活用、開発段階からの原価コン

トロール、生産工期の短縮化および適正な在庫レベルの管理など、業務効率の改善に継続して取り組み、さらなる高収益化を進めていきます。

### 2012年3月期の見通し

「既存ビジネスの収益獲得」と「将来への研究開発投資」をバランスよく進め、中長期の成長につなげていきます

当社を取り巻く市場環境は、2012年3月期においても依然厳しい状況が予想されますが、当社がこれまで進めてきた「顧客密着型ビジネス」は、想定どおりに進捗しており、連結業績見通しについては、売上高395億円（前年同期比8.9%増）、営業利益32億円（同4.7%増）、当期純利益22億円（同3.9%減）を見込んでいます。売上高の増加率に対し利益の増加率が低くなっていますが、これは中長期の継続的な成長に向け研究開発投資を増額するためです。当社は、前述の中期経営計画に沿って、全社一丸となって、今後の市場の変化を見据えたビジネスモデルを早期に確立し、5年後、10年後の成長に向けた施策を進めていきます。

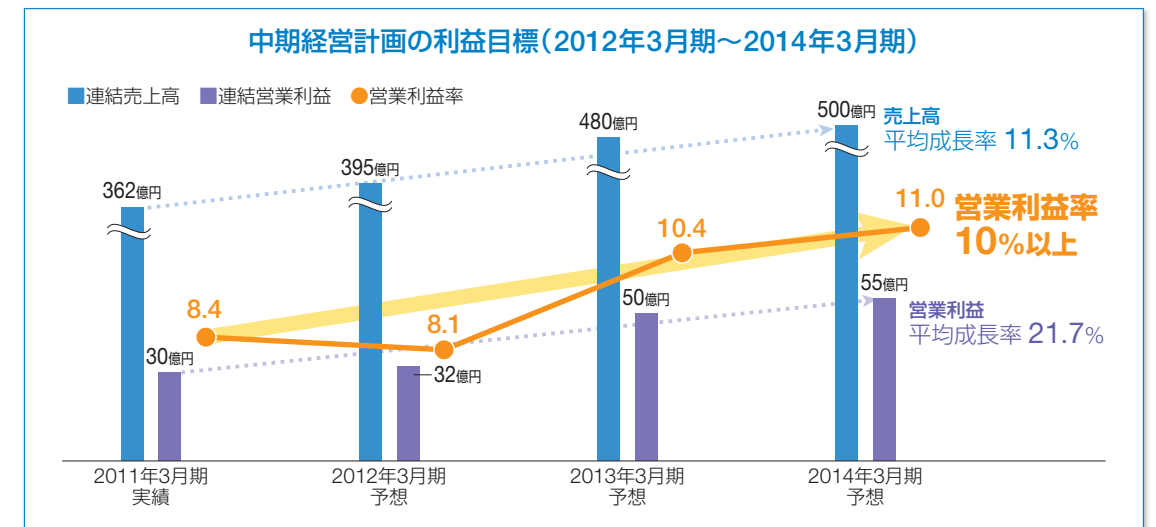
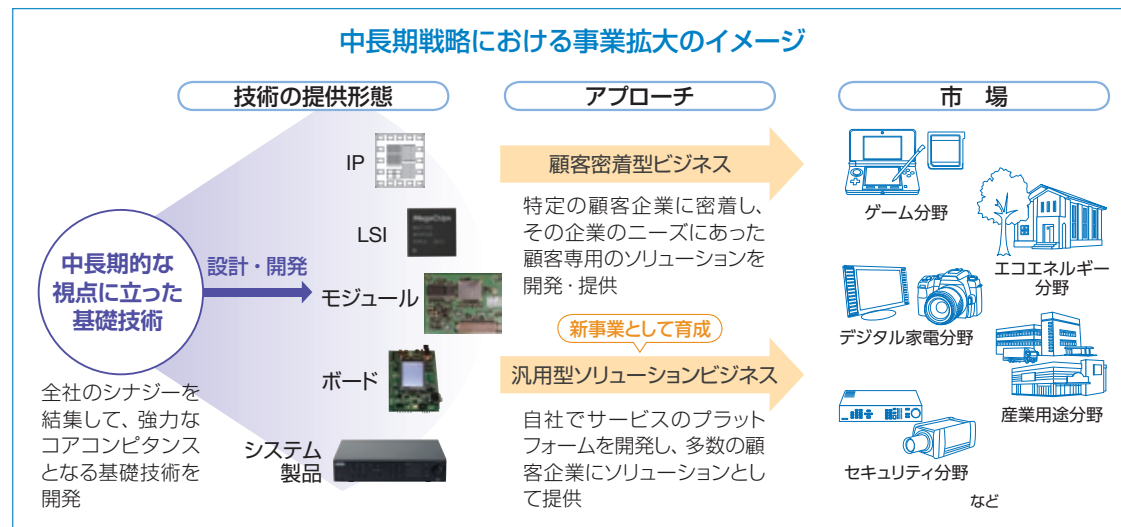


なお、東日本大震災による影響は軽微であると想定しています。主力のLSI製品は生産を国外の半導体メーカーに委託しており、国内メーカーに生産委託している一部製品についても復旧が順次進むことで影響は限定的となる見通しです。

株主の皆様には、引き続きご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2011年6月

代表取締役社長 高田 明



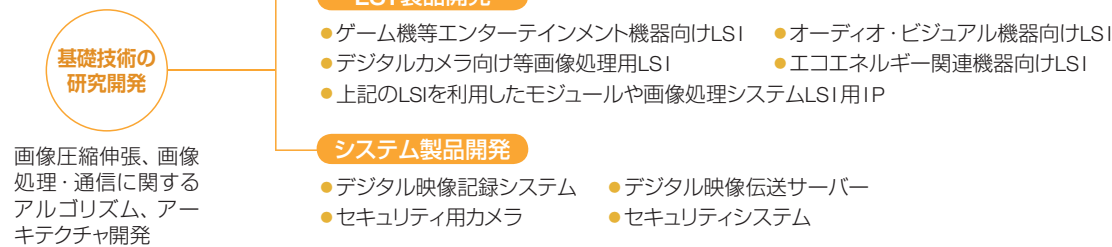
# 技術革新を追求し、活用するために

## 研究開発方針と開発テーマ

### 研究開発方針

画像・音声・通信分野のシステムLSI、システム製品および当該システム製品を利用したサービスソリューションを提供すること

#### 主な研究開発テーマ



## 知的財産戦略

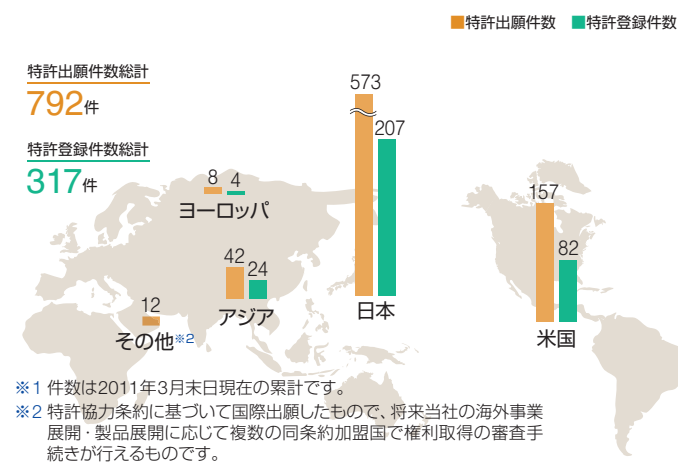
研究開発の成果は、権利として認められ保護されることにより、技術革新が激しい画像・音声・通信分野において、競争優位性を高め、その独自性を確保することができます。

特に、研究開発型ファブレスメーカーである当社は、コアとなる基礎技術を中心とした研究開発段階におけるアイデアやノウハウなどの知的財産が競争優位性の基盤となるため、知的財産の権利化を事業競争力の源泉として位置付け、各事業の戦

略を基に知的財産取得戦略を実行しています。

2011年3月期の取り組みとしては、昨年度に引き続き当社の得意分野である通信技術をエコ関連ビジネスへ展開すべく開発を進めるとともに、これらの技術について早期に特許出願を実施しました。また、開発中のデジタルカメラ関連の新たなビジネスに向けた画像処理回路技術の特許出願をしました。

#### 世界各地域別の特許出願件数・特許登録件数<sup>※1</sup>



#### 2011年3月期 特許出願した主要技術一覧

- LSI 事業**
  - 半導体メモリーの信頼性向上技術
  - 半導体メモリーの秘匿性向上技術
  - デジタルカメラ向け画像処理回路技術
  - 顔(動き)認識アルゴリズム
  - GPS関連技術・アプリケーション
  - 動画圧縮伸張技術
  - 静止画圧縮伸張(JPEG XR)実装技術
- システム事業**
  - 監視カメラにおける画策検知方法

# 社会の一員としての責任を果たすために

## 2011年3月期 環境保全活動

メガチップスは、より豊かな未来社会を実現するために地球環境保全を推進することが必要不可欠であると考え、「環境と経営の共生」を実現することで地球環境に貢献することを目的に、国際規格ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築しています。

製品の低消費電力化、小型化などに取り組む「環境配慮、高循環型製品づくり」、当社独自のグリーン調達ガイドラインに基づく「環境負荷化学物質の削減、グリーン調達」、事業所内での省エネルギー、省資源に取り組む「エコオフィス活動の推進」、コンプライアンスとしての「法令、その他要求事項の順守」の環境方針のもと、環境保全活動に取り組んでいます。

#### 2011年3月期 環境保全活動の目標および実績

評価について： ◎ 達成率110%以上 ○ 達成  
 △ 達成率90%以上 × 達成率90%以下

##### エコオフィス活動目標および実績

指標	取り組み項目	目標	実績	評価
省エネルギー	オフィス電気使用量の削減	1%	3%	◎
省資源	OA用紙購入量の削減	1%	11%	◎

##### LSI製品関連活動目標および実績

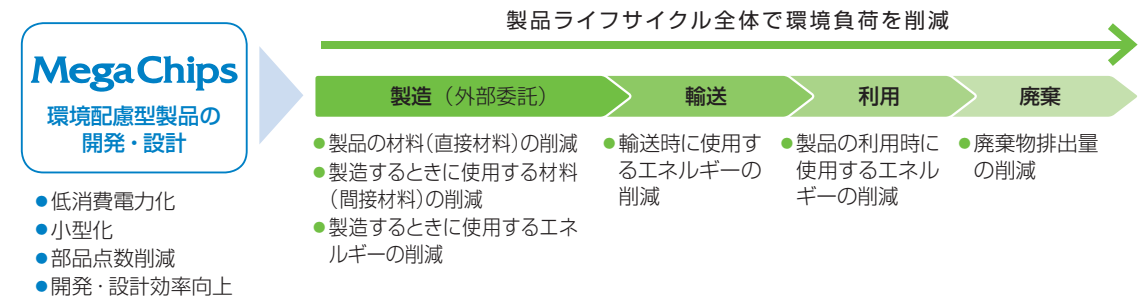
指標	取り組み項目(対象製品)	目標	実績	評価
環境配慮型製品	デジタルカメラ向け画像処理LSIの2段階構成化 <sup>※1</sup> による基盤面積の削減	70%	70%	○
グリーン調達	グリーン調達の推進 <sup>※2</sup>	100%	100%	○

##### システム製品関連活動目標および実績

指標	取り組み項目(対象製品)	目標	実績	評価
環境配慮型製品	セキュリティ製品の小型化(特定顧客向け製品の1機種的设计仕様)	25%	27%	○
グリーン調達	グリーン調達の推進 <sup>※2</sup>	100%	100%	○

※1 メモリなどの外部部品をメインチップ上に配置させるLSI設計方法です。  
 ※2 当社のグリーン調達ガイドラインに従い、2011年3月期に量産した全製品で対応しました。

### ● 環境配慮型製品の開発による主な環境負荷削減効果



## 2011年3月期の主な社会活動

### ● 学生の起業家教育イベントへの協賛

キャンパスベンチャーグランプリ大阪(CVG大阪)は、毎年開催される関西の学生を対象にした新事業提案コンテストです。当社は、若い起業家の輩出が日本経済の成長につながると考え、開催当初からこのグランプリに協賛しています。第12回のCVG大阪では、当社の取締役が新技術部門の審

査委員を務めました。今後も継続的に協賛していく予定です。



第12回 CVG大阪大会表彰式



当社コーポレート・ガバナンスの詳細は、下記東京証券取引所検索ページから、「銘柄名(会社名)メガチップス」または「コード6875」を入力してご覧ください。  
http://www.tse.or.jp/

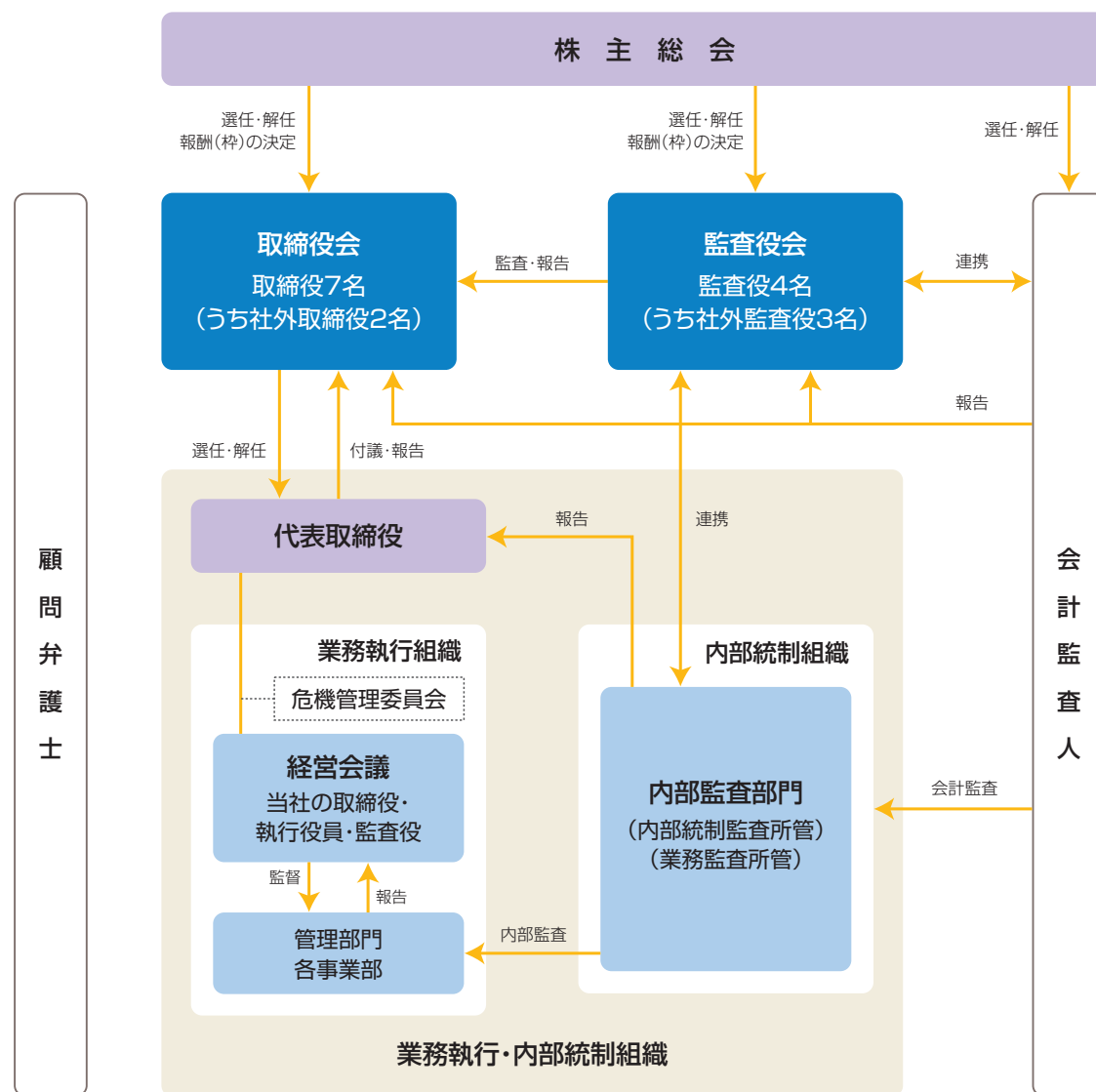
■ 基本的な考え方

当社は、「独創的なハイテク技術をもって社会の期待に誠実に応え、社会的信頼を得ることが、継続的な成長をもたらす」ことを経営陣と従業員が認識し、企業価値を上げていくために、法令順守、重要情報の適時公開、独自技術を駆使した良質な製品の開発と供給、徹底した品質管理、環境保全

等の社会的責任を確実に果たしていくことが重要であると考えています。

このような考えのもと、的確な意思決定と、透明性、効率性の高い経営を実現し、説明責任を確実に果たすために、コーポレート・ガバナンスを継続的に充実させています。

コーポレート・ガバナンス体制図



■ ガバナンス体制

● 取締役会

当社では、株主総会で選任された取締役7名で構成する取締役会で、全社の戦略を議論し、意思決定を行い、業務執行の監督を行っています。毎月1回開催する取締役会では、事業運営の状況を多様な観点から確認し、会社の最高業務決定機関として必要な意思決定が少数の取締役で迅速に行える体制を整えています。

また取締役の内2名<sup>\*</sup>の社外取締役は、会社外の見地から質問し、意見を述べるとともに、必要に応じて助言を行い、経営の客観性、透明性を確保する機能を果たしています。

● 監査役・監査役会

当社は監査役会設置会社です。株主総会で選任された4名の監査役の内3名<sup>\*</sup>は社外監査役であり、取締役からの独立性を重視しています。

各監査役は、取締役会における経営の基本方針、会社の重要事項の決定ならびに業務執行状況が、適正に行われているかを監査しています。

また、監査役会において、業務執行における法令、定款、社内規定の順守および適法性を監視しています。

<sup>\*</sup> 社外取締役、社外監査役は当社出身ではなく社外監査役1名の属する法律事務所と顧問契約を締結している以外に、本人およびその近親者が取締役に就任する会社との人事、資金、技術および取引等の関係はありません。また、2010年3月に東京証券取引所の規則により、社外取締役2名を「独立役員」として選出し、届け出ています。

■ 内部統制システム

当社は、法令で要請されている次の4つの目的「経営の有効性と効率性を高めること」「財務報告の信頼性を確保すること」「法令順守を徹底すること」「資産の保全を図ること」を実現するため、会社法の規定に基づき、内部統制に関する基本方針を取締役会で定めています。この方針に基づき、会社法ならびに金融商品取引法による内部統制システムの整備とルールに基づいた運用に取り組んでいます。

代表取締役は、内部統制に関する基本方針に基づく内部統制の整備および運営、監督に責任を負い、法令の求めるところによりステークホルダーに信頼性・透明性の高い財務報告を行います。また、内部統制システムの「整備」を行い、その適切な「運用」をモニタリングし、評価することで、財務報告にかかる社内の重要な業務が法令・規則に準拠し、また効率的に運営される仕組み・態勢を整えています。

具体的には、代表取締役直属の組織である内部監査部門が、監査役と連携し内部監査を行い日常の部門間の内部牽制が適切に機能しているかを監査します。その結果を代表取締役に報告し、改善課題があれば代表取締役の指示を受けて改善命令を出し、改善状況をチェックします。

また、金融商品取引法に基づく内部統制監査も内部監査部門が併せて行い、内部統制の整備の評価、その運用の評価を行い、代表取締役に報告します。また、内部監査部門は、必要に応じて各業務の責任者に対し業務の改善を勧告します。

当社では上記のように、内部統制システムの整備を確認し、その評価を行っています。

なお、2011年3月期の内部統制報告書においては、「重要な欠陥」「不備」はなく、会計監査人からも無限定適正意見の内部統制監査報告を受けています。

(2011年6月24日現在)

## 連結財務諸表(2011年3月期)

### 連結貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	当連結会計年度 2011年3月31日現在	前連結会計年度 2010年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	23,745	20,003
現金及び預金	7,503	6,585
受取手形及び売掛金	15,159	11,875
たな卸資産	637	946
その他	444	596
固定資産	5,457	6,608
有形固定資産	108	140
建物附属設備	58	78
その他	50	62
無形固定資産	63	75
投資その他の資産	5,285	6,392
投資有価証券	4,187	4,611
長期前払費用	665	1,405
その他	432	376
資産合計	29,203	26,612
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,705	2,134
支払手形及び買掛金	1,987	1,435
未払法人税等	889	44
賞与引当金	282	232
その他	545	421
固定負債	44	38
負債合計	3,749	2,172
<b>純資産の部</b>		
株主資本	23,512	22,310
資本金	4,840	4,840
資本剰余金	6,181	6,181
利益剰余金	12,536	11,380
自己株式	△ 45	△ 91
その他の包括利益累計額	1,940	2,129
その他有価証券評価差額金	2,326	2,451
為替換算調整勘定	△ 385	△ 322
純資産合計	25,453	24,439
負債純資産合計	29,203	26,612

### 連結損益及び包括利益計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	当連結会計年度 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	前連結会計年度 2009年4月1日から 2010年3月31日まで
売上高	36,259	38,495
売上原価	29,731	31,833
売上総利益	6,528	6,662
販売費及び一般管理費	3,472	3,627
営業利益	3,055	3,034
営業外収益	324	176
営業外費用	58	109
経常利益	3,320	3,101
特別利益	371	126
特別損失	202	28
税金等調整前当期純利益	3,489	3,199
法人税等	1,201	1,058
当期純利益	2,288	2,140
その他の包括利益	△ 188	—
包括利益	2,100	—
(内訳)親会社株主に 係る包括利益	2,100	—

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	当連結会計年度 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	前連結会計年度 2009年4月1日から 2010年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,761	△ 431
投資活動による キャッシュ・フロー	381	358
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,080	△ 7,701
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 44	△ 6
現金及び現金同等物の 増減額	1,017	△ 7,780
現金及び現金同等物の 期首残高	6,485	14,265
現金及び現金同等物の 期末残高	7,503	6,485

## IRインフォメーション

皆様とのコミュニケーションをさらに深めていきます

### 今後の活動予定(IRカレンダー)

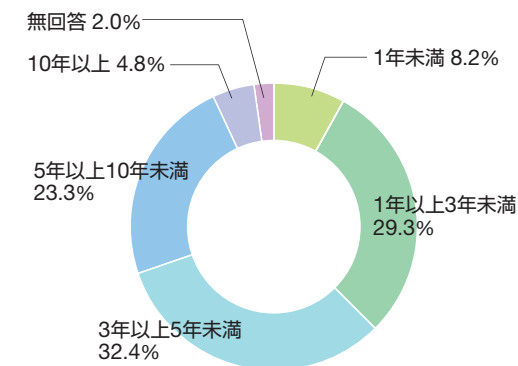
※日程は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



### 株主様アンケート結果報告

「MCCIR Vol.14」誌上のアンケートにおいて、株主の皆様から1,438名のご回答をいただきました。皆様からの貴重なご意見は、今後の経営およびIR活動に活かしてまいります。

#### Q 当社株式の保有期間は?



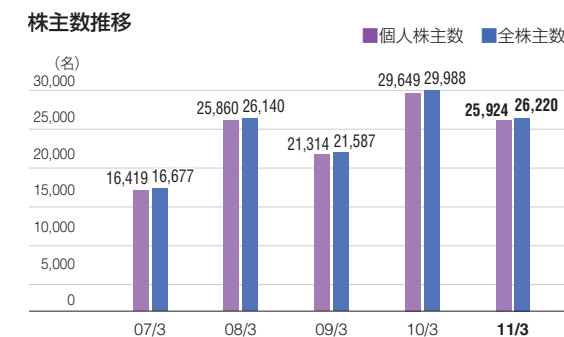
#### 外国為替変動によるリスクはありますか?

外国為替変動による業績への直接的な影響は軽微です。当社は、海外など外部に生産委託するファブレスメーカーですが、当社の海外取引は、円建取引がかなりの比重を占めています。また当社の主な販売先も円建取引がかなりの比重を占めています。

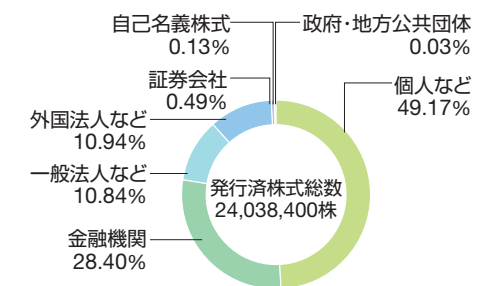
#### 東日本大震災の影響を教えてください。

本誌P6「社長が語る業績と戦略」に記載のとおり、当社は生産を国外の半導体メーカーに委託しており、東日本大震災による生産への影響は軽微です。国内のメーカーに生産委託している当社製品の一部分に製造・部材調達等に支障が生じておりますが、順次復旧が進んでおり影響は限定的となる見通しです。

### 当社の株主構成



#### 所有者別株式分布 (2011年3月末現在)



## 2011年度 株主優待について

メガチップスでは、株主の皆様の日頃のあたたか  
いご支援に対して感謝の意を表するため、株主優待  
制度を設けています。

本年も3月31日現在で当社株式を100株(1単元)  
以上ご所有いただいております株主の皆様へ心ばか  
りの品を贈呈させていただきます。

本年度は、株式会社高島屋の提供する商品カタロ  
グの中から、株主の皆様が希望される商品1点

(3,000円相当)、または任天堂株式会社製ニンテ  
ンダー DS®用ソフト、ニンテンドー3DS™専用ソフトの  
中から1点をご優待品としてお届けします。

メガチップスは株主の皆様への株式価値向上のひと  
つとして、今後とも株主優待制度を継続したいと考  
えています。

なお、株主優待のご案内書(優待カタログ)は、本年  
6月初旬に株主の皆様宛に発送しています。



株式会社高島屋カタログ



nintendogs + cats  
トイ・プードル&Newフレンズ  
©2011 Nintendo

ワンセグ受信アダプタ  
DSテレビ  
©2007 Nintendo

ニンテンドー3DS・  
ニンテンドーDSは  
任天堂の登録商標  
または商標です。

### ご注意

株主優待は、毎年3月31日現在の株主名簿に記載された、100株(1単元)以上のご所有の株主様を対象に行っています。株主名簿は株主様からお届け  
いただいた情報を基に作成しておりますので、ご転勤などでご住所を変更される場合は、証券会社等口座開設先に必ず住所変更届をご提出ください。(株主  
優待に関する当社からの案内書がお届けできない場合が少なからず発生しております。)  
なお、株主優待品につきましては、申込受付期日を過ぎますとお受けできなくなりますので、ご注意ください。

## 会社概要(2011年6月24日現在)

会社商号 株式会社メガチップス  
英文商号 MegaChips Corporation  
事業所 本社  
〒532-0003  
大阪市淀川区宮原四丁目1番6号 アクロス新大阪  
TEL.06-6399-2884(代表) FAX.06-6399-2886  
東京営業所  
〒102-0082  
東京都千代田区一番町17番地6 一番町MSビル  
TEL.03-3512-5080 FAX.03-3262-3598  
設立 1990年4月4日  
上場 東証1部(証券コード6875)  
資本金 4,840百万円  
従業員数 269名(2011年3月31日現在 連結)  
事業内容 システムLSI、自社システムLSIを使った電子部品および  
システム製品の設計・開発・販売

役員 代表取締役社長 高田 明  
取締役副社長 林 能昌  
取締役副社長 松岡 茂樹  
取締役・執行役員 藤井 理之  
取締役・執行役員 古部 哲生  
取締役 水野 博之(社外取締役)  
取締役 山田 園裕(社外取締役)  
常勤監査役 角 正  
監査役 小原 望(社外監査役)  
監査役 北野 敬一(社外監査役)  
監査役 中西 藤和(社外監査役)

※取締役 水野 博之氏および山田 園裕氏は、会社法第2条第15号に定める社  
外取締役です。

※監査役 小原 望氏、北野 敬一氏および中西 藤和氏は、会社法第2条第16号  
に定める社外監査役です。

## 株主メモ

決算日 毎年3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
基準日 毎年3月31日  
配当基準日 毎年3月31日  
この他、取締役会の決議により、予め公告して  
基準日を定めることができます。  
1単元の株式数 100株  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話：0120-094-777(通話料無料)  
受付時間：土・日・祝祭日等を除く  
平日9:00～17:00

公告の方法 電子公告により行います。  
公告掲載URL  
<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6875/6875.html>  
(ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむ  
を得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっていま  
す。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱  
UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座  
管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支  
店にてもお受けいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

## IR活動の充実に向け、アンケートにご協力ください

当社は、株主の皆様のご意見をIR活動に反映させることが、コミュニケーションを深めていく上で重要であると考えています。  
つきましては、**アンケートハガキ**にご回答くださいますよう、よろしくお願いたします。

(2011年7月31日まで受付)

### 配当金の口座受取に関するご案内

配当金の受取方法として口座受取をご選択いただきますと、株主様のご指定の口座にて、  
配当金支払開始日に確実に配当金をお受け取りいただくことができます。

◆ 配当金の口座受取の種類

① 登録配当金受領口座方式  
ご所有の全ての銘柄の配当金を、ご指定の一つの口座で  
お受け取りいただくことができます。配当金をまとめて  
管理したい株主様に便利な方法です。

○ ○ 株式会社配当金 → A銀行  
△ △ 株式会社配当金 → B銀行

② 株式数比例配分方式  
複数の証券会社等で株式をご所有の場合、各証券会社等  
ごとのご所有株式数に応じて、配当金をそれぞれの証券  
会社等の口座で按分してお受け取りいただくことができ  
ます。配当金を証券会社等の口座で管理したい株主様に  
便利な方法です。

○ ○ 株式会社 500株 → A証券 300株 (3,000円)  
配当金@10円(税引き後) → B証券 200株 (2,000円)

③ 個別銘柄指定方式  
ご所有の銘柄ごとに、配当金の受取口座をご指定いた  
だき、お受け取りいただく方法です。

○ ○ 株式会社配当金 → A銀行  
△ △ 株式会社配当金 → B銀行

◆ お手続き、お問合せ先

① 証券会社等に口座をご開設の株主様  
お取引の証券会社等が窓口となりますので、そちらまで  
お問合せください。

② 当社開設の特別口座で管理の株主様  
(証券会社等に口座をご開設でない株主様)  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部までお問  
合せください。

**三菱UFJ信託銀行株式会社**  
大阪証券代行部 0120-094-777(通話料無料)  
受付時間：土・日・祝祭日等を除く 平日9:00～17:00

Q1. どこで当社をお知りになりましたか。1つお答えください。

新聞 株式・経済情報誌 インターネット  
証券会社 会社四季報  
その他( )

Q2. 当社株式をご購入された理由を教えてください。  
(複数回答可)

成長性 収益性 経営理念 財務体質  
配当 優待 その他( )

Q3. 投資の際に参考にされている情報源を教えてください。  
(複数回答可)

各社ホームページ 株主通信・事業報告書  
アナリシスレポート 新聞 株式・経済情報誌  
投資情報ウェブサイト 掲示板サイト  
有価証券報告書(四半期報告書) テレビ、ラジオ  
証券会社 会社四季報  
その他( )

Q4. 当社の経営に期待する点について1つお選びください。

業績 株価 配当金 株主優待 財務力 環境対策  
法令順守 社会貢献 技術力

Q5. 当社ホームページのIR情報はいかがでしたか?

わかりやすい まあまあわかりやすい 普通  
あまりわかりやすいくない わかりにくい まだ見ていない  
その他( )

Q6. 当社に対するご意見ご要望をお聞かせください。

アンケートにご協力いただきありがとうございます。

キ ャ ー ド